

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公開番号】特開 2001-49015 (P2001-49015A)  
 【公開日】平成 13 年 2 月 20 日 (2001.2.20)  
 【出願番号】特願 平 11-221127

【国際特許分類】

**C 0 8 J 7/04 (2006.01)**  
**B 3 2 B 27/32 (2006.01)**  
**C 0 8 J 5/18 (2006.01)**  
**C 0 8 L 23/10 (2006.01)**  
**C 0 8 L 45/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 J 7/04 C E S J  
 B 3 2 B 27/32 E  
 C 0 8 J 5/18 C E S  
 C 0 8 L 23/10  
 C 0 8 L 45/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 24 日 (2006.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリオレフィン系樹脂を 90 重量%より多く 100 重量%以下及び無機または有機微細粉末を 0 重量%以上 10 重量%未満含有する基材層 (A) の少なくとも片面に、ポリオレフィン系樹脂 0 ~ 85 重量%及び非晶性樹脂 15 ~ 100 重量%を含有する表面層 (B) を有し、かつ表面層 (B) の空孔率が 5 % 以下であることを特徴とする多層樹脂延伸フィルム。

【請求項 2】

表面層 (B) のポリオレフィン系樹脂の含有量が 20 ~ 85 重量%であり、かつ、非晶性樹脂の含有量が 15 ~ 80 重量%である請求項 1 に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項 3】

前記非晶性樹脂が環状オレフィン系樹脂である請求項 1 または 2 に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項 4】

前記非晶性樹脂のガラス転移温度が 170 以下である請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項 5】

前記表面層 (B) のポリオレフィン系樹脂が、プロピレン系樹脂、エチレン系樹脂、またはこれらの混合物である請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項 6】

不透明度 (J I S P 8 1 3 8) が 70 % 未満である請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の多層樹脂延伸フィルム。

【請求項 7】

前記表面層（Ｂ）の上にピグメントコート層が設けられている請求項6に記載の多層樹脂延伸フィルム。